

① 気にかけた、気にかける行動や取組の内容

社会参加へのアプローチ

一人で登下校している子が気になる。声掛けをしてもいいのか？

声掛け、状況確認

地域イベントへの参加

お母さん同士が交流できる場が多くあったらと思う。

コロナが5類になったが地域参加がしにくい状況が続いている？感染対策をして再開していきたい

施設等で外出レク、ボランティアの受け入れ、年末年始の外出、外泊など

相談や繋がらない人や怒って帰った人は気になる

② 課題と感じたこと

ゴミ屋敷

独居高齢の問題

孤立、孤独

自分が住んでいる地域について知らない

地域活動への参加拒否

独居高齢者の方で「長生きしたくない」等を訴える人が増えている気がする

個人情報の問題

ニーズ調査、状況把握が難しい

普段関わっている方の変化について、個人情報の壁ですぐ確認などできない

地域の人が何に困っているか吸い上げられていない

課題意識、問題意識を持つ

古い建物の放置

職員間の情報交換

③ 連携・協働について

マンションであれば管理人

課題を見据え協働して対策を練る

さまざまな困りごとをどこに連絡したらよいかわからない人が多い

各事業所に繋ぎ情報共有する

機関を紹介するだけではなく繋ぐ

他機関との連携、多職種連携

認知症疑いであれば、包括支援センター、地域役員、地域コーディネーター

④ 工夫・改善点・アイデア

お節介も大切

SNSの活用

タワーマンションであれば防災訓練

幅広い世代への啓発

挨拶を通して顔見知りになる

マンション住人の騒音問題を地域コーディネーターに相談した

行政側からの地域課題の発信が不足している。

困っている側からも発信しないとキャッチできない。

支援者に向けてのハンドブック作成